



「近江楽座」＝学生らしさを活かして、地域に学び、育ち、貢献できる場

「近江楽座（おうみらくざ）」とは？

滋賀県立大学の スチューデントファーム「近江楽座」-まち・むら・くらしふれあい工舎- は、地域貢献を目的とする学生主体のプロジェクトを募集、選定して、全学的に支援する教育プログラムです。
平成16年度に文部科学省「現代的教育ニーズ取組支援プログラム（現代GP）」に採択され、平成18年度までの3年間の活動実績が大学発地域貢献の先進的な取り組みとして、学内外で高く評価されました。
そして、翌平成19年度からは大学独自の予算を用いてプログラムを継続し、これまでに培ってきたノウハウや地域とのつながりを活かし、さらなる活動を展開しています。

教育効果を高め、大学と地域の連携を深めるための3つの目標

- 地域の課題に大学・学生が取り組み、地域の活性化に向けて共に活動する。
- 学生が地域の方々と一緒に活動することにより、学内だけでは学べないことを体験する。
- 大学と地域が共同して、よりよい地域づくり・人づくりにつながるしくみをつくる。

3つのサポートシステム

近江楽座専門委員会・学生委員会・近江楽座事務局（地域共生センター）の連携の下、3つのサポートシステムにより、全学的に活動を推進しています。

■ 活動助成システム

スチューデントファーム「近江楽座」として選定されたプロジェクトの事業計画に基づき、活動に必要な事業費を審査し、助成します。

■ コンサルティングシステム

教員の指導・助言に加え、行政や専門家の紹介など、学生がプロジェクトを進めていくために必要なコンサルティングを行います。

■ 地域「知」のリソースシステム

大学と地域連携に係わる情報を他大学、研究機関、行政、NPO 団体などと共有化・活用するためのデータベースを構築し、活動をサポートします。

プロジェクトタイプ

平成19年度より、「地域活性化への貢献」をテーマに学生主体の地域活動を行う「Aプロジェクト」に加え、新たに、自治体や企業等から提示された課題について、学生主体のプロジェクトチームを結成し活動する「Bプロジェクト」がスタートしました。

■ Aプロジェクト

「地域活性化への貢献」をテーマとする学生主体の地域活動を募集します。

昨年度までの継続活動を対象とした①「継続プロジェクト」、新規活動を対象とした②「新規プロジェクト」、さらに新たに③「Sプロジェクト」として、これまでの実績をもとにステップアップを目指すプロジェクトで、活動資金の助成を必要としないプロジェクトの3つの区分で募集し、支援するプロジェクトを選定しています。

■ Bプロジェクト

自治体や企業、団体等から依頼のあった課題について、「近江楽座」として取り組むテーマを設定し、学生主体のプロジェクトを募集します。学生チームにはテーマに対する企画提案を求め、採択されたチームは、指導教員と地域共生センターがフォローし、依頼先と共同で取組みます。

Aプロジェクト

「地域活性化への貢献」をテーマとする学生主体の地域活動プロジェクト。

継続プロジェクト

- Sプロジェクト（平成23年度より開始）
活動資金の助成を必要とせず、これまでの実績をもとにステップアップを目指す取組
- 新規プロジェクト

Bプロジェクト

学生主体のチームが自治体や企業等から提示された課題に、プロポーザル方式で企画提案を行い、選定されたチームと依頼先とが共同で取り組むプロジェクト（平成19年度より開始）

MANAGEMENT CYCLE

step1 発起

近江楽座につながる活動の芽

- 「学生主体による地域貢献活動」がキーワード
- 大学での授業、フィールドワーク、研究などすべてが近江楽座につながる活動の芽

学生ならではの視点で地域の課題や魅力を見出し、新たな実験的な試みを蓄積していくことが出来ます。



公開プレゼン

step2 計画

一年間で成果を上げるためのプランニング

- 年一回、近江楽座のプロジェクト募集と審査会
- 学生主体の活動であれば、誰でも応募可能
- 所定の過程と厳正な審査を経て為される採択

公開で行われる審査会を経験することで、学生たちのプレゼンテーション能力が養われます。また、審査を通して自分たちのプロジェクトの評価を確認することが出来ます。



交流会

step3 活動

独自の支援を活用したプロジェクト展開

- 活動資金の助成により、実践的な活動展開が可能
 - 教員と事務局が連携した全学的なサポート体制
 - 年度中間に活動の中間報告を行い、活動の発展を図る
- 活動助成やコンサルティングといった活動支援に加えて、近江楽座がこれまで培ってきたノウハウや地域とのつながりを活かすことで、更なる成果や展開も生まれていきます。



中間報告会

step4 報告

大学、地域と共に成果と課題の再認識

- 全てのチームで一年間の活動をフィードバックし、成果と課題を共有し合う
- 成果の発表だけでなく、地域関係者や一般の方とともに意見交換できる場づくり

活動成果の展示発表と同時に、外部講師による講評会を開催します。より多くの方々と共にまちづくりを考える場をつくることで、近江楽座の活動を広くアピールして取組の発展を図ります。



成果発表会

近江楽座を経験し、地域へのまなざしを持つことで
学生もプロジェクトも次のステップへ。
そして、次へつながる新たな“種”が生まれる。

— VOICE / 先輩の声 —



迫間 勇人（彦根商工会議所）
C3 —Community Concierge Consultant—（2004-）

地域に入っていく上でいつも心がけていたのは、RPGのように活動すること。はじめから誰と動いてどこで活動するのか決めるのではなく、味方になってくれそうな人を求めて人づてにわたっていく。そして活動のなかで出来ていった仲間や人とのつながりは今でも大きな財産になっている。もう一つ大切なことは、必ず引き際を考えておくこと。学生はいつかは地域を去っていく。そのときに地域に何を残せるか、いかに地域の人たちをやる気にさせるかを考えることが大事。

活動に参加した最初のきっかけは純粋にキャンドルナイトの美しさに感動したこと。イベントを企画・運営する側になって、今度は人を楽しませることがやりがいになっていった。一方でまだ組織もまとまっていない中、代表をつとめ苦労することも。そんな中でどうしても楽しんでもらえるのか、そのために自分は何をすべきかを考え続けたことで、いつのまにか目標に向かっていく行動力が身に付いた。人生のなかでも自分のアクティビティを成長させる有意義な時間だった。



池山 邑華（近江楽座事務局）
あかりんちゅ（2009-）
かみおかべ古民家活用計画 —SLEEPING BEAUTY—（2012-）

SCHEDULE 2013-2014

4月 / April

新入生オリエンテーション（4/4）
2013年度プロジェクト学内公募（4/10-5/7）
2012年度活動報告会（4/13）
応募説明会（4/15）

5月 / May

2013年度近江楽座学生委員会活動開始
2013年度公開プレゼンテーション・審査会（5/19）
2013年度プロジェクト審査結果発表会（5/23）
活動説明会（5/30）

6月 / June

第16回湖風夏祭（6/22）

7月 / July

「おうみらくざプロジェクトレポート」発行開始 ※予定
交流会“ソロソロ会”開催 ※予定
滋賀県立大学 オープンキャンパス 2013（7/27-28）

8月 / August

9月 / September

交流会“ソロソロ会”開催 ※予定

10月 / October

10周年記念企画 ※予定
2013年度中間報告会 ※予定

11月 / November

第19回湖風祭（11/9-10）
交流会“ソロソロ会”開催 ※予定
スキルアップセミナー ※予定

12月 / December

交流会“ソロソロ会”開催 ※予定

1月 / January

交流会“ソロソロ会”開催 ※予定

3月 / March

活動実績報告

4月 / April

2013年度活動報告会

PROFILE

近江楽座専門委員会

滋賀県立大学の社会貢献活動の高度化・活性化を図る、地域共生センター運営委員会の一専門委員会であり、近江楽座のプログラムにおける企画・運営、プロジェクトの公募・審査、広報や学外交流などの議案を審議し、事業全般を推進することを目的とした教員による組織です。
メンバーは各プロジェクトの指導教員だけでなく、それ以外の教員も含めた全学的な構成となっており、より広い視野で学生主体の地域貢献活動をサポートしています。

近江楽座学生委員会

近江楽座をさらに推進していくことを目的に、プロジェクトチームの代表経験者が中心となり、2006年度に結成された組織です。チーム間の交流・連携を目的として、交流会の開催や活動紹介冊子の作成など、学生ならではの視点で近江楽座をサポートしています。
学生たちが学部や学科、プロジェクトの枠を越えて活動の輪を広げ、地域活性化に貢献するためのネットワークを形成して行くことを目指しています。

ウェブサイトの情報が充実！



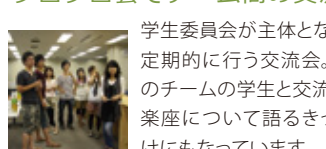
近江楽座ウェブサイトは、各チームのブログと連動して更新。リアルタイムでの活動がわかります。

プロジェクトレポート発行中！



事務局スタッフが実際に取材、プロジェクトの生の様子を伝えていきます。
レポートは近江楽座ウェブサイトが、学内の掲示板でチェック！

ソロソロ会でチーム間の交流！



学生委員会が主体となり、定期的に行う交流会。他のチームの学生と交流し、楽座について語るきっかけにもなっています。

近江楽座でスキルアップ！

楽座に関わる学生や地域活動に興味のある人を対象にセミナーを開催。講師には学内外から幅広い分野の方々をお招きします。

PROJECT CATALOG 2013

DATE

- チーム名（参加人数）
- プロジェクトタイプ（発足年度）
- 主な活動場所
- 代表者名（所属）
- 指導教員（所属）
- 関連団体
- WEB

01 内湖における侵略的外来種駆除



滋賀県大BASSERS（15名）
継続（2011年～）
彦根市神上沼 / 琵琶湖
彦根市信楽町
北野大輔（環境科学部）
浦部美佐子 / 野間 直彦（環境科学部）
全国ブラックバス防除市民ネットワーク
http://blog.goo.ne.jp/fisherman48/

守ろう！琵琶湖の生態系

ブラックバスやブルーギルをはじめとした侵略的外来種は在来種を捕食・駆逐して、日本固有の水辺の生態系や環境を壊しています。私たちは、内湖という特別な環境において、在来種にとって棲みやすい環境をつくり、守っていきたくと考え、駆除や啓発などの活動を行っています。



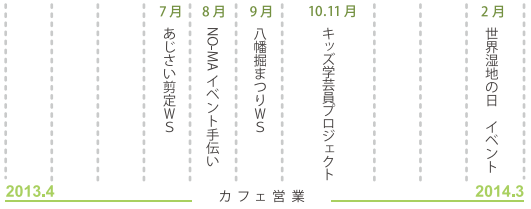
02 ART FORUM 2013 DIG'S



DIG'S（12名）
継続（2009年～）
近江八幡市
山本 聡子（環境科学部）
井手 慎司（環境科学部）
八景会
http://vories.shiga-saku.net/

近江八幡の魅力再発見！

私たち DIG'S は、近江八幡の地域資産を題材に WS やイベント作りを行っている団体です。学生の視点から地域資産を掘り出し、それらを地元の方々に発信し、地元の魅力を再発見してもらうことを目的に活動しています。これまでに、ウォーリス建築、街歩き、八幡山の竹間伐などをテーマに、八幡の魅力を発掘してきました。また、拠点としている「屋」では毎週土曜日にカフェを営業しています。



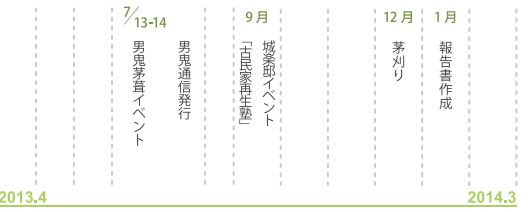
03 男鬼楽座



男鬼楽座（23名）
継続（2004年～）
彦根市内 / 多賀町
本保 隆紀（人間文化学部）
濱崎 一志 / 石川 慎治（人間文化学部）
湖北古民家再生ネットワーク
http://oorp-rakuzo.blogspot.jp/

茅葺でつなぐ男鬼の未来

男鬼（おお）楽座は、滋賀県彦根市男鬼町を中心とした山間集落の可能性を探り、文化的景観の保存と活用をすることを目的とする団体です。2007年から茅葺き屋根の補修・葺き替えに取り組んでいます。本年度は、男鬼での茅葺きイベントをつなぐとともに、湖北古民家再生ネットワークの城楽邸イベント「古民家再生塾」などにも積極的に参加し、山間集落の再生の可能性を探っていきます。



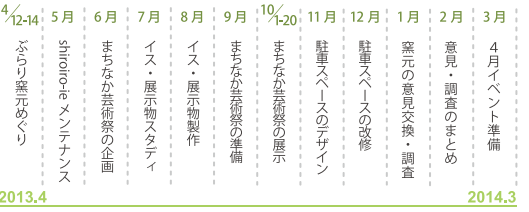
04 信・楽・人 -shigaraki field gallery project-



信・楽・人 -shigaraki field gallery project-（8名）
継続（2007年～）
甲賀市信楽町
町口久貴（環境科学部）
印南 比呂志（人間文化学部）
明山楽
http://shigarakiexp.blog.jp/

信楽の魅力を引き出し、発信！

信楽の散策路で窯元や職人さんと一緒に信楽の魅力を発見し、信楽焼やタヌキなど信楽でしかできないことでイベントの企画を考え、地元のイベントに参加します。窯元から頼まれた依頼を学生が取り組むことで問題を解決し、まちを盛り上げていきます。



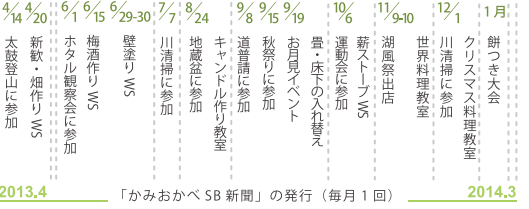
05 かみおかべ古民家活用計画 —SLEEPING BEAUTY—



かみおかべ古民家活用計画SB（17名）
継続（2012年～）
滋賀県彦根市上岡町
石坂 結衣（環境科学部）
林 幸司（環境科学部）
上岡町自治会 / NPO 法人「311」支援委員会
株式会社「311」支援委員会
http://kamiokabeproject.blog.shinobi.jp/

三方よし（地域・学生・古民家よし）

上岡町にある古い民家にて家の改修やお祭りの開催、畑づくりなどを通して地域の方と交流を図っている。古民家改修では、家の造りを学びながら学生自らの手で改修を進め、イベントでは学生のアイデアで発案から企画、運営し、地域の方や古民家に関心のある方との交流だけでなく、海外からの留学生を招いたグループはインホームも開催しています。



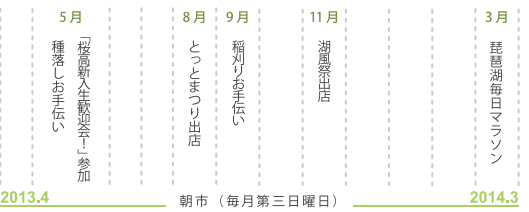
06 とよさだプロジェクト



とよさだ（15名）
継続（2009年～）
滋賀県内
高橋 啓介（環境科学部）
濱崎 佳樹（環境科学部）
豊郷町役場
http://tgmp.blog81.fc2.com/

耕作放棄地を整備し野菜づくりを行う

豊郷町では高齢化や後継者不足が進み、耕作放棄地が数多くあります。とよさだは、そのうちのひとつのハウスと露地を借りて毎週土曜日は日曜日に活動しています。収穫した野菜は、彦根市の農産物直売所、毎月の朝市、滋賀県立大生協や学生に納品することで、地域の方々や学生に食べていただき、私たちの活動の意図を知っていただくことで、地域活性に貢献できればいいと考えています。



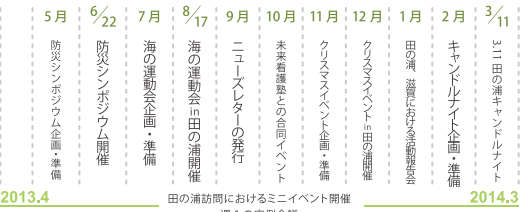
07 S(Saigai & Shiga) T(Taisaku&Tanoura) 交流推進プロジェクト



田の浦ファンクラブ学生サポートチーム（12名）
継続（2013年～）
宮城県南三陸町歌津地区田の浦 / 滋賀県各地
宮崎 栄（人間文化学部）
広瀬 優樹（環境科学部）
鶴岡 修（全学共通教育推進機構）
有限会社 A SITE（平屋 晋）
多賀町役場 / 多賀区子供会
http://stproject-tanoura.jimdo.com/

被災地と滋賀をつなぐパイプ役！

東日本大震災発生後、南三陸町田の浦にはたてあかり、本興プロジェクトや未来看護塾などの本校の学生団体が入り活動するようになりました。こうした本校の学生と田の浦のつながりや、支援活動を通じて生まれた滋賀県内の地域の方々とのつながりを活かした田の浦の復興まちづくりを支援します。



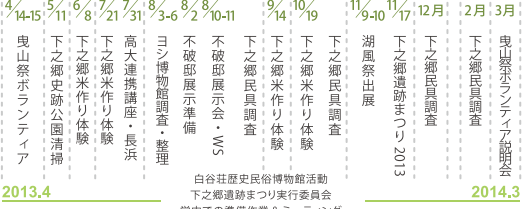
08 地域博物館プロジェクト



スチューデント・キュレーターズ（19名）
継続（2012年～）
彦根市 / 高島市 / 米原市 / 白谷町 / 近江八幡市
佐野 正晴（人間文化学部）
市川 秀之 / 田中 健一（人間文化学部）
白谷荘歴史民俗博物館
http://d.hatena.ne.jp/kabuto712/

地域とともに歩む博物館づくり

民具や古文書、お祭りなど、地域には多くの文化財があります。私たちは、そうした「地域文化財」や地域の歴史・文化を住民の方々とともに調べ、「地域博物館」をつくりあげていくことを目的に活動しています。「地域博物館」をつくることは、住民の方々にとって自らの住む地域の魅力を再発見する良い機会になるとともに、私たちも非日常の体験ができることに加え、住民の方々との交流を通じて多くのことを学ぶことができます。



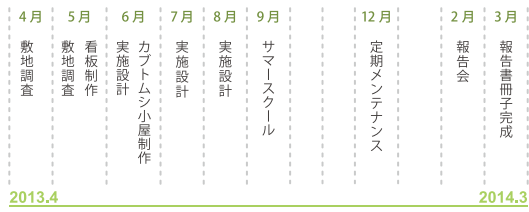
09 木興プロジェクト



木興プロジェクト（27名）
継続（2011年～）
宮城県本吉郡南三陸町歌津地区田の浦
濱崎 昌司（環境科学部）
市野 修司（副学長リヒネス・J・R（環境科学部）
田の浦ファンクラブ / 未来看護塾
http://blog.canpan.info/siga_kasimoku/

建てる！復興から発展へ

3月11日に発生した東日本大震災をうけ、「建築・デザインを学ぶ学生に何ができるのか」という思いをきっかけに、ものづくりによる支援活動を目的としています。宮城県南三陸町歌津地区の浦にて昨年、建設した集会所の増改築をします。



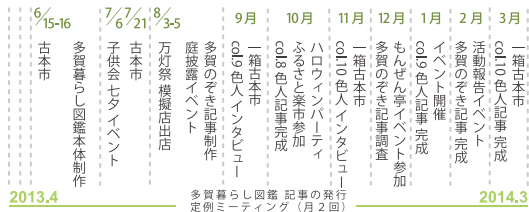
10 Taga-Town-Project



Taga-Town-Project（29名）
継続（2004年～）
彦根市 / 宮城県仙台市本吉町
宮崎 栄（人間文化学部）
内田 佑紀（環境科学部）
陶崎 浩一 / 永井拓生（環境科学部）
（株）高橋工業
http://yaplog.jp/taketomo2011/

学生から見た多賀の魅力を発信

多くの人に多賀の魅力を知ってもらうため「学生から見た多賀の良いところ・おもしろいところ」を見つけ発信する活動をしています。主な活動として、多賀の魅力のナット・場所・人を取り出し記事を作成する「多賀暮らし図鑑プロジェクト」、イベントを開催し、交流のきっかけをつくる「八百秀アートプロジェクト」、今年度から始まった町からの依頼に応える「お手伝い引き受けまプロジェクト」があります。



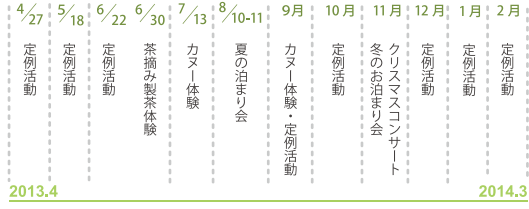
11 障がい児・者、自立支援・共生社会プロジェクト



ボランティアサークルHarmony（25名）
継続（2004年～）
彦根市 / 彦根市 / 東近江市
谷口 友美（人間文化学部）
竹下 秀子（人間文化学部）
NPO 法人「障害者の権利と生活」を推進する会 / NPO 法人「障害者の権利と生活」を推進する会
http://harmony-melody.cocolog-nifty.com/

子どもたちと楽しく成長

Harmonyは障がいを持った子どもたちと茶道や粘土などをして将来作業所で働くために必要な社会性や手先の器用さを身につけることを支援する団体で、障がいを持っているために制限されてしまいがちな障がい児・者とその家族の充実した余暇活動を支援している団体です。様々な経験を通して子どもたちと共に学生共生活が成長することを目指しています。



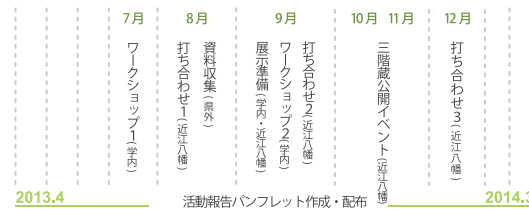
12 三階蔵覚醒プロジェクト



三階蔵部（8名）
新規（2013年～）
彦根市 / 近江八幡市
久保 奈緒子（人間文化学部）
濱崎 一志 / 石川 慎治（人間文化学部）
近江八幡市 文化振興課
http://sankai-club.jimdo.com/

おはよう、三階蔵！

全国的にも珍しい三階蔵の土蔵、通称「三階蔵」を、地域資源として活かす方法を考え、実践を試みるチームです。多くの方に三階蔵の存在を知っていただくために、三階蔵を覚醒＝公開し、その魅力を発信していきます。収蔵史料の整理やパネル等の展示作業を行い、将来的には、情報共有や交流を行うツールとして、全国の三階蔵をつなぐ「三階蔵ネットワーク」の構築も目指しています。



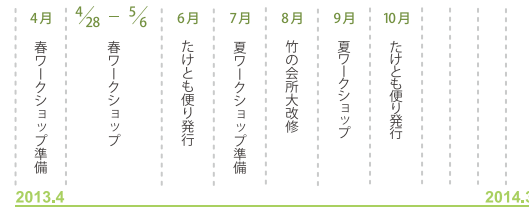
13 たけとも 一竹の会所 友の会



たけとも一竹の会所 友の会（23名）
継続（2012年～）
宮城県宮城郡仙沼市本吉町
内田 佑紀（環境科学部）
陶崎 浩一 / 永井拓生（環境科学部）
（株）高橋工業
http://yaplog.jp/taketomo2011/

竹の会所の今後を支える団体

宮城県宮城郡仙沼市に、復興の拠点となる場所をつくりたい。滋賀県立大学陶器造一研究室を中心として始動したのが、「竹の会所」プロジェクトです。そしてこの竹の会所の今後の活動を支えていく友の会。それが「たけとも」です！建物の整備、補修、竹の会所でのイベントを行います。



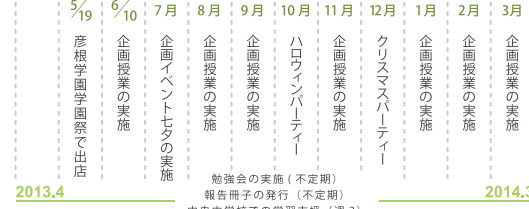
14 チーム・バンデイル・ジ・オウロ



バンデイル・ジ・オウロ（14名）
継続（2010年～）
彦根市 / 彦根市 / 愛宕町
高橋 寛史（人間文化学部）
河合 孝 / 田中 健一（人間文化学部）
彦根市教育委員会
http://bandeira-de-ouro.blogspot.jp/

外国籍の子どもによりよい未来を！

多文化共生が求められる現代に、外国籍の子どもたちは多くの教育問題をかかえながら生活しています。そんな現状の中でバンデイル・ジ・オウロは「外国籍の子どもたちがよりよい未来を過ごせるように！」という思いのもと、主に外国籍の子どもたちの学習支援を行なうとともに、異文化理解を深めつつ多文化共生を推進し、地域の活性化を促すことを目標として活動しています。



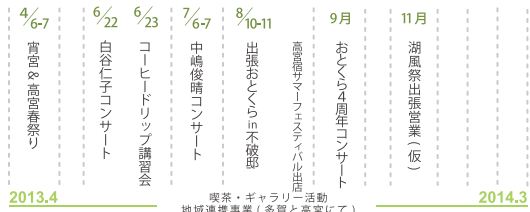
15 おとくらプロジェクト



おとくらプロジェクト（18名）
継続（2010年～）
彦根市高宮町 彦・楽庵「おとくら」
久保 晃（環境科学部）
近藤 正美 / 中西 茂行（環境科学部）
高宮経友会
otokura.jimbo.com

歴史ある高宮に新たな風を

築200年を超える古民家と蔵が、学生の手によって、喫茶、ギャラリー、イベントスペースに生まれ変わりました。おとくらプロジェクトは歴史ある町「高宮」を地域の方々で協力して今まで以上に元気にすることを目的に活動しています。大学生が主体となって営業している活気あふれるコミュニティスペース、それが喫茶おとくらです。



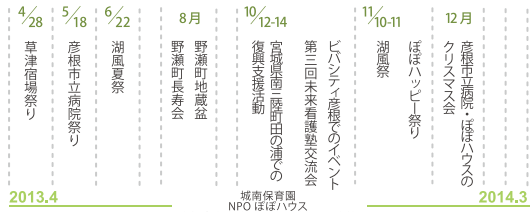
16 未来看護塾



未来看護塾（104名）
継続（2004年～）
彦根市内 / 宮城県南三陸町歌津地区田の浦
山田 智生（人間看護学部）
伊内 智和 / 川崎 愛子 / 中上 恵子（人間看護学部）
彦根市立病院 / NPO 法人「311」支援委員会 / 彦根市立病院
http://mirakango.blogspot.jp/

心も体も生き生き健康に！

子どもや高齢者、障がいの有無に関わらず、地域の方々を対象に心も体も健康になってもらえるような活動を行っています。また様々な人とのふれあひの中でコミュニケーションや健康についての将来に必要な力を自然と身につけていきます。



17 政所茶レン茶'ー



政所茶レン茶'ー（12名）
新規（2013年～）
彦根市 / 彦根市 / 東近江市
谷田 麻穂（人間文化学部）
上田 洋平（全学共通教育推進機構）
東近江市役所
http://mandocoro-challenger.jimdo.com/

政所茶に夢見て…

私たち茶レン茶'ー（チャレンジャー）は、茶の産地、政所（まんどころ）と茶畑を借り、現地の茶農家さんの指導を受けながら、お茶づくりを実践しています。地元の人からお茶にまつわる文化などを聞き、政所の暮らし・文化を学び伝えます。



18 あかりんちゅ



あかりんちゅ（30名）
継続（2009年～）
彦根市 / 彦根県内等
白井 希実（環境科学部）
近藤 正美 / 中西 茂行（環境科学部）
ひこねキャンドルナイト実行委員会
http://akarinchu.shiga-saku.net/

リサイクルキャンドルでスローな夜を…

お寺などからいただいた廃棄ろうそくでリサイクルキャンドルを作り、キャンドルナイトやキャンドル作り教室、キャンドル販売を行い、リサイクルキャンドルを灯して過ごす「エコでスローな夜」を広めようとして活動しています。

